

## **II 市町補助事業**

令和5年度 地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業 実施市町一覧

市町名		協働活動		地域学校協働活動		えひめ未来塾		放課後子ども教室		土曜教育活動		家庭教育支援	
		実施	箇所数	実施	箇所数	実施	箇所数	実施	箇所数	実施	箇所数	実施	チーム数
1	四国中央市	○	25			○	5						
2	新居浜市	○	15			○	28	○	1				
3	西条市	○	35	○	27	○	24	○	11	○			
4	今治市					○	3					○	
5	上島町									○	1	○	
6	東温市	○	9	○	1	○	3	○	3				
7	伊予市							○	1			○	1
8	砥部町	○	1									○	
9	久万高原町	○	3					○	3			○	1
10	大洲市	○	13	○	1	○	5					○	1
11	内子町	○	7	○	2	○	3						
12	伊方町	○	3							○	1		
13	西予市			○	6	○	6	○	1	○	1	○	1
14	宇和島市	○	35	○	29	○	13					○	1
15	鬼北町	○	7					○	3				
16	愛南町							○	6	○	1		
合 計		11	153	6	66	13	103	7	19	9	5		

各市町の活動の数値は、令和6年3月末までの見込み  
本事業における市町補助事業として実施している活動分のみ

# 地域学校協働活動



## 「和船競漕の船の見学」

(畑地小学校地域学校協働本部【宇和島市】)

①	【四国中央市】南小学校地域学校協働本部	32
②	【新居浜市】中萩校区地域学校協働本部	33
③	【西条市】禎瑞小学校地域学校協働本部	34
④	【東温市】上林小学校地域学校協働本部	35
⑤	【砥部町】麻生小学校地域学校協働本部	36
⑥	【久万高原町】面河小学校地域学校協働本部	37
⑦	【大洲市】肱川小・中学校地域学校協働活動本部	38
⑧	【内子町】内子小学校地域学校協働本部	39
⑨	【伊方町】伊方地域学校協働本部	40
⑩	【宇和島市】畑地小学校地域学校協働本部	41
⑪	【鬼北町】泉小学校地域学校協働本部	42

# 南小学校地域学校協働本部【四国中央市】

～地域全体で子どもの成長を支えよう～

## ◆活動の目的・理念

- 様々な人との出会いを通して、児童の健全育成を推進する。
- 地域を知り、地域を愛し、地域に生きる児童の育成に努める。

	配置	属性	活動内容								
地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	1 名	前PTA会長	・学校・地域・公民館の年間行事との調整及び支援活動の計画 ・学校支援ボランティアへの連絡と調整								
協働活動支援員のべ人数	40 人	公民館長、人権擁護委員、民生児童委員、婦人会員、燧灘防災会員、PTA役員等									
活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティ ア調整	休み時間 対応	日々の校 内清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準 備・補助	学校行 事	進路指導 補助	その他
のべ日数 250 日	200 日	日	日	日	26 日	日	日	22 日	2 日	日	日
ボランティア のべ人数 875 人	600 人	人	人	人	180 人	人	人	75 人	20 人	人	人
連携・協力団体・機関	学校運営協議会、金田公民館、川滝公民館、金田婦人会、金田地区民生委員児童委員協議会、燧灘防災会、更生保護女性会、交通安全協会金田支部、金田地区防犯連絡協議会、みなみの森読み聞かせボランティア、南小PTA										

## 取組の概要

### <主な取組内容>

- 子どもに寄り添う学習支援
  - ・ 読み聞かせ
  - ・ 学習支援(生活・家庭・総合・音楽・図工)
- 心を豊かにする環境整備
  - ・ 環境整備ボランティア活動(毎月2回)
  - ・ PTA親子奉仕作業、資源回収への協力
  - ・ 花の苗植え活動 ・ プール清掃
- 地域全体で取り組む見守り活動
  - ・ 登下校の見守り活動
  - ・ 交通安全教室
  - ・ 校内マラソン大会の交通整理
- ふるさを愛する子どもを育む体験活動
  - ・ 紙おどりの練習
  - ・ 田植え、稲刈り体験学習
  - ・ お接待体験活動
  - ・ 防災クラブ



(総合:校区の昔を知ろう)



(お接待体験活動)



(稲刈り体験学習)



(防災クラブ:段ボールトイレ製作)

### <コミュニティ・スクールとの一体的な取組>

- 樹木の剪定応援ボランティア活動  
毎年8月にPTAと地域、児童が中心となって、「PTA親子奉仕作業」を行っている。内容は側溝の掃除や、草刈り、樹木の剪定である。ただ、学校の敷地が広く樹木が多い上、児童数・家庭数の減少により、ここ数年、樹木の剪定が十分にできていなかった。そのことを学校運営協議会で相談すると、奉仕作業の少し前に高所作業車を使って大掛かりな剪定を行うことになった。前もって剪定をすることで、奉仕活動当日には、参加者に剪定済みの枝を細かく切ってもらい、効率的に作業を行うことができた。



(高所作業車による樹木剪定)

## 事業を実施して

### 【成果】

- コロナ禍で希薄になりつつあった地域と学校とのつながりが、アフターコロナとなり、順調に戻ってきた。応援ボランティアの方と児童との対面式も数年ぶりに開催できた。
- 協働活動をきっかけとして、学校の様子、児童の様子を知り、地域全体で児童の成長を支えるという意識が高まっている。校内マラソン大会では、沿道で地域の方がたくさん応援してくださった。

### 【課題】

- 今年度、地域コーディネーターが交代したことにより、ボランティアの調整に苦労したこともあったが、徐々に改善されつつある。
- コロナ前に比べると学習支援の回数が少なくなっている。教職員に積極的に呼び掛け、活用するようにしていきたい。

# 中萩校区地域学校協働本部【新居浜市】

～子どもたちが住みやすい安心安全なまちを作ろう～

## ◆活動の目的・理念

- 各種団体の活動を、学校教育につなげる。
- 地域の子どもたちは地域で守り育てるという意識を持つ。
- 地域学校協働活動を地域住民に関心を持っていただくために周知する。

地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	配置		属性		活動内容							
		1	名	公民館職員		・学校・地域・公民館の年間行事との調整及び支援活動の計画 ・協働活動支援ボランティアへの連絡と調整 ・広報・啓発活動(学校だより、公民館報)						
協働活動支援員のべ人数	23	人	公民館職員、老人会員、地域住民等									
活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティ ア調整	休み時間 対応	日々の校 内清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準 備・補助	学校行 事	進路指導 補助	その他	
のべ日数 229 日	203 日	日	日	日	日	23 日	日	日	2 日	日	1 日	
ボランティア のべ人数 2,246 人	2,233 人	人	人	人	人	人	人	人	10 人	人	3 人	
連携・協力団体・機関	中萩公民館、中萩校区自治会長会、社会福祉協議会中萩支部、中萩校区愛護班連絡協議会、防犯協会中萩支部、交通安全協会中萩支部、中萩老人クラブ、新居浜市交通指導員中萩班											

## 取組の概要

### <主な取組内容>

- **地域の有志で取り組む見守り活動**
  - ・登下校時、通学路、横断歩道にて見守り活動を実施
  - ・小学校対象のあいさつ運動支援
- **環境整備活動**
  - ・通学路のゴミ拾い、草刈りを実施
- **心を豊かにする活動**
  - ・お祭り集会(小中学校にて伝統文化に触れる)
  - ・独居高齢者との触れ合い(感染症対策により訪問は中止)



(通学路草刈り)

### 独居高齢者への手紙を書いた児童の感想

- ・ 知らない高齢者へ手紙を書くことは難しかった。
- ・ 手紙の返事が学校へ来たことがうれしかった。
- ・ 直接、手で渡したかった。
- ・ 元気で長生きしてほしい。
- ・ 全員に手紙が届いているのがすごいと思った。



(お祭り集会)

### <コミュニティ・スクールとの一体的な取組>

- **校区防災訓練で中学生講師活躍**  
 校区防災訓練を開催時、中学生が講師として、説明や実演を行った。前日には、消防団員・地域防災士等から、災害に備えるための知識や技能についての指導を受けた。  
 (指導内容:簡易トイレ、段ボールベッド、間仕切りテント、初期消火訓練、応急処置訓練等、避難所開設について)



(校区防災訓練)

## 事業を実施して

### 【成果】

- 子どもたちは、地域住民との触れ合いを通して、地域との隔たりがなくなり、地域活動に積極的に参加をするようになった。
- 子どもたちと触れ合うことから、地域住民も活力を得られ、やりがいを感じる事ができた。
- 地域住民の子どもたちや学校への理解が深まり、学校行事への協力体制が広がった。

### 【課題】

- 指導者やボランティアが高齢化、固定化しており、若い世代の人材が不足している。
- 多世代に渡る地域住民への周知方法を考えていく必要がある。

# 禎瑞小学校地域学校協働本部【西条市】

～地域・家庭とともにある学校づくり～

## ◆活動の目的・理念

- 本校の教育目標「心身ともにたくましく、笑顔で学び合う禎瑞っ子の育成」の具現化を目指し、学校運営協議会のもと、地域・保護者・学校が連携して禎瑞小学校やふるさと禎瑞を愛する子どもを育てる。

地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	配置		属性		活動内容							
	1	名	地域住民		・学校・地域・公民館の年間行事との調整及び活動支援							
協働活動支援員のべ人数	100	人	地域づくり協議会、公民館、自治会、福寿会、防犯協会、健全育成協議会、交通安全協会、PTA、社会福祉協議会、消防分団、婦人会、幼稚園、民生児童委員、PTAアドバイザー等									
活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティ ア調整	休み時間 対応	日々の校 内清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準 備・補助	学校行 事	進路指導 補助	その他	
のべ日数	220 日	199 日	日	日	日	9 日	日	日	5 日	3 日	日	4 日
ボランティア のべ人数	2,091 人	2,000 人	人	人	人	11 人	人	人	20 人	40 人	人	20 人
連携・協力団体・機関	禎瑞公民館、禎瑞連合自治会、禎瑞交通安全協会、禎瑞地区土地改良区、共楽会、禎瑞生産組合、ていちゃん・ずいくん・宝箱、禎瑞小PTA 等											

## 取組の概要

### <主な取組内容> 地域行事の活性化を目指して～「お川狩り」への参加～

- 投網体験活動  
地域行事である投網などで魚を捕る「お川狩り」に学校行事として参加している。その中で4年生から6年生の児童が投網体験をするが、投網を使いこなすにはかなりの練習が必要である。そこで漁協関係者やPTAに協力を依頼して、投網を打つ練習を学習の一環として実施した。
- 「お川狩り」への参加  
学校行事の一環として日曜参観日とし、保護者と児童が地域行事「お川狩り」に参加した。全児童が小舟に乗るので、操船(船頭)役の大人が必要である。PTAより人材を募り、児童が楽しみにしている乗船体験をすることができた。また、船に乗船しない時間は家族と釣りをして楽しみ、親子触れ合いの時間を持つことができた。
- トコピカ活動の実施  
「とことんぴかぴかに」が名前の由来である。「お川狩り」終了後、児童、保護者、教職員で周辺のゴミ拾い活動を実施している。「自然の恵みを頂く」という本来の趣旨にも合う活動で、自然に感謝する気持ちを育むために実施している。



(お川狩り)



(トコピカ)

(投網練習)

### <コミュニティスクール・スクールとの一体的な取組> 地域学習を広げよう～地域の偉人 竹内立左衛門を核として～

- 語り継ごう、地域の偉人竹内立左衛門  
前年度までに、地域の読み聞かせボランティアが紙芝居「禎瑞物語～竹内立左衛門がのこしたもの～」を子どもたちに読み聞かせてくれていた。地域教材として大変貴重なもので、5月実施の第1回学校運営協議会の中で上演していただいた。その中で、地域や保護者にも広めていこうということになり、学習発表会で上演することが決定した。その後、4年生と読み聞かせボランティアが合同で上演することが決まるなど活動が広がりを見せ、11月の学習発表会で地域や保護者に向けて発信した。
- ふるさとめぐりの実施  
10月実施の第2回学校運営協議会において、今年度の遠足が地域めぐりの活動であることをお知らせし、協力を依頼した。竹内立左衛門に関わる史跡をピックアップし、その史跡について説明する地域人材の確保を依頼し、全校縦割り班活動として地域めぐりの遠足を実施する予定である。(2/29実施予定)



(紙芝居の発表)

## 事業を実施して

### 【成果】

- 学校運営協議会を通してお知らせしたり、協力を仰いだりしたこと、遅滞なく活動を進めることができた。
- 地域学習の中心を竹内立左衛門に絞ったことで児童のふるさとを大切に思う気持ちの醸成に役立った。

### 【課題】

- 本来「お川狩り」の行事は地域行事であるが、地域住民の参加が減少している。そのため、今回活動場所を学校近くに変更し、利便性の向上を図った。しかし、思ったほど地域の参加者が増加しなかったのですらなる工夫が必要である。

# 上林小学校地域学校協働本部【東温市】

～子どもの成長・安全・安心をど真ん中に～

## ◆活動の目的・理念

- 学校・家庭・地域が連携し、教育活動の質の向上を目指す。
- 子どもをど真ん中に置き、子ども中心の取組みを進める。
- 教職員の業務負担を解消し、学校の業務改善を促進することで、教師が子どもと向き合う時間を確保する。

	配置	属性	活動内容								
地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	1 名	PTA	・地域学校協働活動を実施するための地域との橋渡し役								
協働活動支援員のべ人数	0 人										
活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティ ア調整	休み時間 対応	日々の校 内清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準 備・補助	学校行 事	進路指導 補助	その他
のべ日数 260 日	185 日	日	20 日	日	日	日	日	日	55 日	日	日
ボランティア のべ人数 180 人	100 人	人	10 人	人	人	人	人	人	70 人	人	人
連携・協力団体・機関	学校運営協議会委員、子ども会、地元区会、上林資源環境保全会、星の郷、有志等										

## 取組の概要

### <主な取組内容>

- 地域人材との交流活動
  - ・年間を通じて、米づくりを学ぶ
  - ・地域の歴史や文化遺産を学ぶ
- 心を豊かにする環境整備
  - ・地域有志による校内奉仕作業
  - ・親子奉仕作業
- 地域全体で取り組む見守り活動
  - ・登下校の見守り



(米の作り方を学ぶ)



(おにぎりパーティー)

### 児童の感想

- ・ 田んぼでは稲が育つだけでなく、オタマジャクシなどの生き物が育っていることが分かった。
- ・ 稲を育てるのに、田んぼに植えるだけでなく、「分けつ」や「中干し」などが必要な理由を学べた。
- ・ 米作り名人と一緒に米づくりできて楽しかった。
- ・ おにぎりを作ったり、餅つきをしたりして、地域の方と交流ができた。

### <コミュニティ・スクールとの一体的な取組>

#### ●地域との年間を通じた交流

地元団体である上林資源環境保全会を中心に、地域の方の田を借りて米作りを行っている。5月には田植え、9月には稲刈りを全校児童で体験している。収穫したお米でのおにぎりパーティーや餅つき大会を実施しており、自然愛護の気持ちを育成したり、収穫の喜びを実感する学びの場となっている。保護者の参加も実現し、学校・家庭・地域とが連携協力しての教育活動を行う貴重な学校行事となっている。



(餅つき大会)

## 事業を実施して

### 【成果】

- 地域に根ざした学校として、地元団体や地元区と協力することで、地域と共に学ぶ活動ができた。
- 児童たちが住んでいる地域のことを詳しく学ぶことができた。

### 【課題】

- 児童数の減少や地域の高齢化が進む中、継続的に事業を実施していく体制づくりが必要となっている。

# 麻生小学校地域学校協働本部【砥部町】

～子どもの学びに生かす地域の力～

## ◆活動の目的・理念

- 学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育てる環境を整える。
- ふるさとについて学び、砥部を愛し、砥部に誇りをもった子どもたちを育てる。
- 地域人材の活用を図り、地域の教育力の向上を図る。

地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	配置		属性		活動内容						
	1	名	地域住民		・地域の教育課題解決に必要な総合的な連絡調整 ・地域・学校の教育活動への支援や企画、参加促進 ・学校運営協議会その他必要な協議体との連絡調整						
協働活動支援員のべ人数	0		人								
活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティ ア調整	休み時間 対応	日々の校 内清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準備 ・補助	学校行事	進路指導 補助	その他
のべ日数 260 日	200 日	20 日	日	日	日	日	日	40 日	日	日	日
ボランティア のべ人数 580 人	400 人	100 人	人	人	人	人	人	80 人	人	人	人
連携・協力団体・機関	砥部焼の窯元、砥部町食生活改善推進協議会、松山南交通安全協会（本部・原町支部）、砥部町交通指導員、レインボーポケット等										

## 取組の概要

### <主な取組内容>

#### ● 伝統文化にふれる学習

伝統産業・文化である砥部焼について、窯元の見学や焼き物の制作を通して、ふるさとに誇りを持ち、砥部を愛する心情を育てる活動を行っている。今年度は砥部焼の窯元をゲストティーチャーに招き、砥部焼の成り立ちや現状について学んだ。



(砥部焼について学ぶ)

#### ● 地域の協力で食育(米づくり体験・おやこの食育教室)

地域の方からお借りした水田で田植えから稲刈りまでを実際に行い、食の大切さを学んでいる。水田を提供してくださっている方が講師となって育てた米を「おやこの食育教室」(家庭科の学習)で使用した。砥部町食生活改善推進協議会の方に参加していただき、朝食の大切さを学んだ。また、保護者の方にも参観してもらい、家庭への啓発も行うことができた。



(総合的な学習の時間(米づくり))

#### ● 地域で取り組む交通安全

毎年4月、1・2年生を対象に交通安全教室を実施している。交通安全協会や交通指導員の方を講師として、正しい横断歩道の渡り方や交通事故から命を守るために大切なことを指導していただいている。また、ボランティアの方に協力していただきながら毎日登校指導を行っている。

#### ● 子どもに寄り添う読み聞かせ活動

毎月1回、朝の自習時間に、ボランティアの方による絵本の読み聞かせを行っている。学年の発達段階や学習事項に合わせた絵本を選んでもらっており、児童の興味関心を高め、豊かな心を育てている。



(読み聞かせ活動)

### <特色ある取組>

#### ● コミュニティ・スクール研修会

令和7年度に町内全小中学校へのコミュニティ・スクール導入を計画している。今年度は、麻生小学校を研究校として、令和6年度の導入に向けた研修会(全5回)を行った。講師にCSマスターの西村久仁夫氏をお招きして、学校と地域の連携・協働が求められている背景や学校運営協議会のあり方、先進地での実践事例等についてご講演いただいた。麻生小学校職員や準備委員会の方々、町内小中学校職員、行政職員が参加し、コミュニティ・スクールについての理解を深めた。



(第1回研修会の様子)

## 事業を実施して

### 【成果】

- 地域の方々の協力をいただきながら、児童の深い学びにつなげる活動を行うことができた。
- コミュニティ・スクールの研修会を通して、運営について理解を深めることができた。

### 【課題】

- 令和6年度のコミュニティ・スクール導入に向けて、より具体的な内容について準備を進めていく必要がある。
- コミュニティ・スクールについて、保護者や地域の方の理解を促進する工夫を検討する。

# 面河小学校地域学校協働本部【久万高原町】

～地域と共に歩む学校を目指して～

## ◆活動の目的・理念

- 学校と地域の強い結びつきを生かし、地域ぐるみで子どもを守り育てる。
- 学校をはじめ、子どもを取り巻く全ての大人が「地域の子どもは地域で育てる」意識を高め、地域と共に歩む学校づくりに取り組む。

地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	配置	属性		活動内容							
	3名	主にPTA役員		・学校・地域及びボランティアとの連絡と調整を行う。 ・環境整備・学校支援活動等への参加を呼び掛ける。							
協働活動支援員のべ人数	0人										
活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティ ア調整	休み時間 対応	日々の校 内清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準 備・補助	学校行 事	進路指導 補助	その他
のべ日数 183日	150日	日	日	日	日	日	日	日	13日	日	20日
ボランティア のべ人数 730人	260人	人	人	人	人	人	人	人	350人	人	120人
連携・協力団体・機関	久万高原町役場面河支所 久万高原警察署・交通安全協会 久万高原消防本部・消防署 女性防火クラブ面河支部 面河地区地域運営協議会 面河地区自治会 面河地区公民館 社会福祉協議会面河支部 文化協会面河支部 面河万歳保存会 老人クラブ連合会面河支部 ボランティア連絡協議会おもご支部 面河小おやじ倶楽部 など										

## 取組の概要

### <主な取組内容>

#### ●子どもの学校生活を支える環境整備

学校行事の前を中心に、保護者、地域の方の協力を得て、学校とその周辺環境整備を行っている。

- ・プール清掃(6月)
- ・校内の除草・グランド整備・「面河大運動会」に向けての準備(8・9月)
- ・おもご高齢者支援ハウスから学校までのイルミネーション取付(12月)



(イルミネーションの取付)

#### ●子どもの心を豊かにする学習支援

地域の人材を生かし、心豊かでたくましい子どもを育てるため、多様な学習経験の場を設けている。

- ・読み聞かせ(毎月、ボランティアによる読み聞かせ)、親子読書講座(2月)
- ・高齢者支援ハウスとの交流(10・12・2月)
- ・校内マラソン大会の支援・応援(10月)



(高齢者との交流)

#### ●地域と共に盛り上げる学校行事

学校行事に地域の方を招き、子どもの様子を見ていただいたり、直接行事に参加していただいている。

- ・面河大運動会(地域とともに企画・運営を行う)(9月)
- ・参観日(地域の方を招いて開催)、面河地区人権を考える集い(11月)
- ・面河ふるさとまつり(11月)
- ・おもごふれあい芸能発表会(1月)



(面河大運動会)

### <特色ある取組>

#### ●あまごの塩焼きパーティー(6月3日(日)実施)

PTA総会で地域の方と「あまごの塩焼きパーティー」をしてはどうかという意見が出された。5月の遠足の際、児童(園児)が面河の河川清掃を行い、漁業組合からあまごをいただいた。6月3日(日)のプール清掃には、地域の方、保護者・児童(園児)・教職員、総勢約60名が活動した。活動後、漁業組合からいただいたあまごを塩焼きにし、参加者全員での会食を行った。「あまごの塩焼きパーティー」を通して、子どもたちや保護者・教職員から直接地域の方に感謝の気持ちを伝えたり、地域の方とじっくりと交流をしたりすることができた。また、地域の「あまご」というすばらしい食材にも触れることができた。面河唯一の学校であるおもご幼稚園・面河小学校が地域とつながるすばらしい機会となった。



(協力しての焼き作業)

(食べながらのコミュニケーション)

## 事業を実施して

### 【成果】

- 地域の方は、「子どもは地域の宝、学校は文化の中心」という思いを強くもち、とても協力的である。
- 地域の方と学校に関わる子ども・保護者・教職員と一緒に活動したり、語り合う機会を通して、相互の理解を深めることができています。

### 【課題】

- 児童数が減少していることに伴い、PTA会員数、教職員数が減少している。また、地域も高齢化が進行しつつあり、互いに負担が少ない実りある活動を模索し、今後も継続が可能な内容を検討していく必要がある。面河の未来像について学校と地域が語り合うことも重要となる。

# 肱川小・中学校地域学校協働活動本部【大洲市】

～ふるさとを愛する子どもたちを、地域で育てよう～

## ◆活動の目的・理念

- 「ふるさと学習」を軸とし、系統性を重視した肱川ならではの教育を支援していく。
- 学校活動に地域住民等が参画することで、子どもたちの多様な体験の機会を増やし、学校教育の充実を図る。
- 地域住民自らの知識や経験を活かす場を広げ、地域の教育力の向上を図る。

地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	配置		属性		活動内容						
	1	名	元行政職員		・学校・地域各種団体との行事・活動の調整及び支援要請 ・学校支援ボランティアへの連絡と調整 ・広報・啓発活動(「ユール」の発行)						
協働活動支援員のべ人数	0		人								
活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティ ア調整	休み時間 対応	日々の校 内清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準 備・補助	学校行事	進路指導 補助	その他
のべ日数 654 日	205 日	日	128 日	日	81 日	日	日	41 日	38 日	日	161 日
ボランティア のべ人数 1,513 人	996 人	人	128 人	人	81 人	人	人	94 人	53 人	人	161 人
連携・協力団体・機関	肱川公民館、肱川地区社会福祉協議会、肱川地区各自治会、肱川地区老人クラブ連合会、民生児童委員、主任児童委員、等										

## 取組の概要

### <主な取組内容>

#### ●豊かな人材を活用した教育活動

- ・肱川小学校 やませみ22の指導による、巣箱作り・巣箱掛け・野鳥観察
- ・肱川中学校 大谷文楽保存会の指導による「三番叟」の練習・発表

#### ●ふるさとを愛する子どもを育てる「ふるさと学習」

- ・肱川小学校 町内探検「肱川の自慢」(風の博物館・歌麿館、小菽温泉、養老酒造、大谷酪農など)
- ・肱川中学校 「しゃくなげ谷」でのしゃくなげの苗木の植栽・炭焼き体験活動・ふれあい祭りへの参加

#### ●地域と学校との連携

- ・機関紙「ユール」の町内全戸配布(毎月)
- ・肱川小学校 徒歩通学登校見守り活動＝肱川子ども見まもり隊活動3年目(地域ボランティア)
- ・肱川中学校 「肱中画廊」「川上の絶景100選」の地域への募集、校門横にアルミ缶回収BOXの設置



(巣箱作り体験)



(大谷文楽体験)

### <コミュニティ・スクールとの一体的な取組>

#### ●肱川中学校 「川上の絶景100選」

令和6年度の河辺中学校との統合を控えて、生徒が住む川上地区(肱川町・河辺町)に興味と親しみと誇りを持ち、記憶に残せるよう、2L判のフォトフレーム「川上の絶景」100点を校内各所に置き、さりげなく目に入るように展示している。写真は、地域の皆さんから提供していただいた。

#### ●肱川小学校 登校時の見守り活動(3年目)

肱川子ども見まもり隊(9名と1事業所)に見守り活動をしていただいている。この活動は、肱川小学校の徒歩通学3班の児童の安全の見守り、先生の負担軽減と児童と向き合う時間の確保を目的にしている。見守りボランティアの皆さんからは、児童と交流できる喜びの声や道路危険箇所の連絡をいただいている。今年度も集合場所付近の清掃活動を行っていただいた。



(川上の絶景100選)



(登校時の見守り活動)

## 事業を実施して

### 【成果】

- 新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことにより、学校から地域へ出向く、地域から学校へ来ていただく活動も活発になった。学校行事や学習指導において、地域の各種団体・企業・個人ボランティアの皆さんのご協力を得て、児童・生徒の「ふるさと学習」を進めることができた。また、人口減少・高齢化が進む中での学校の存在、児童・生徒の教育推進においての学校と地域の連携の重要性を実感した。

### 【課題】

- 学校からの活動報告・情報発信がさらに重要になる。

# 内子小学校地域学校協働本部【内子町】

～「地域とともにある学校づくり」を目指して～

## ◆活動の目的・理念

- 学校・家庭・地域が連携し、「地域とともにある学校づくり」を推進する。
- ふるさと学習を中心として、地域のよさを感じ、郷土愛を深める。
- 地域人材の活用を図り、子どもたちの夢を応援する。

	配置	属性	活動内容									
地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	1 名	PTA役員	・学校・地域・自治会館の年間行事との調整及び支援活動の計画 ・学校支援活動の連絡と調整 ・広報・啓発活動(コミスクだより発行)									
協働活動支援員のべ人数	45 人	内子自治センター職員、自治会役員、民生児童委員、内子児童館長、内子町図書館情報館長、商工会、環境教育ネットワーク、PTA役員等										
活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティ ア調整	休み時間 対応	日々の校 内清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準 備・補助	学校行 事	進路指導 補助	その他	
のべ日数	76 日	10 日	15 日	日	日	日	日	36 日	5 日	日	10 日	
ボランティア のべ人数	391 人	100 人	10 人	人	人	人	人	95 人	126 人	人	60 人	
連携・協力団体・機関	内子自治センター、畑中自治会、民生児童委員、内子児童館、内子町図書館情報館、商工会議所、農協NPO法人サンラブ、うちみづネット、道の駅から、国際交流協会、神楽保存会、内子小学校PTA等											

## 取組の概要

### <主な取組内容>

- **ふるさとを愛する子どもを育む郷土学習**  
地域の文化や産業の継承、地域に根差した素材を利用した体験や学習を通して、ふるさとを愛する心をもった児童の育成に努める。
  - ・「内子の歴史を英語で紹介しよう」(6年生)
  - ・「田植え・稲刈り体験教室」(5年生)
  - ・「エコ見回り」(2年生)
- **豊かな地域人材を生かした教育活動**  
地域で活躍されている人々の思いや活動内容を生かした教育活動を展開する。
  - ・「木のおもちゃ作り」(2年生、手仕事の会協力)
  - ・「神楽鑑賞会」(3年生、立川神楽保存会協力)



(稲刈り体験教室)



(神楽鑑賞会)

### 地域コーディネーター日誌より

立川神楽保存会の方(6名)に来ていただき、神楽を鑑賞した。6つの演目を披露していただき、途中、体験もさせていただいた。「盆の舞」「大蛇の舞」立川神楽は1802年に始まったそうで、200年以上の歴史があるが、今は後継者不足が課題になっているそうである。今回、子どもたちに披露する機会が持てて、喜んでおられた。

### <コミュニティ・スクールとの一体的な取組>

- **地域とともに考える環境教育**  
NPOサンラブの協力を得て、廃油石鹸づくりを行った。廃油を原料としたリサイクルの視点や、使用後は微生物が分解しやすい環境に配慮した視点を学びながら、家庭で実践できるエコ活動について体験することができた。
- **地域とともに考える防災教育**  
内子町役場総務課危機管理班の方の指導の下、西日本豪雨の時の写真や、今年の大雨の写真などを確認し、内子町における被害について考えた。段ボールベッドや簡易トイレを組み立てて、活用方法を確認した。



(廃油石鹸づくり)

## 事業を実施して

### 【成果】

- 自然・歴史・文化・産業など様々な分野での地域理解が深まり、児童の郷土への愛着を高めた。
- 目的に応じた地域教材や地域人材を活用することで、児童の学習意欲を高めることができた。

### 【課題】

- 多くの地域住民に活動を周知し、新たなサポーターの人材を確保する必要がある。
- 各活動状況を振り返り、地域住民が主体的に参加できる環境づくりを行っていく。

# 伊方地域学校協働本部【伊方町】

～地域ぐるみ・町ぐるみで伊方の子どもを育てよう～

## ◆活動の目的・理念

- 学校・家庭・地域が手を取り合って、地域の宝である子どもたちを育てる。
- 地域の歴史・伝統・文化に関する関心や理解を深め、豊かな人間性を養う。
- 地域人材の活用を通して学校を支援するとともに地域の活性化を図る。

	配置	属性	活動内容								
地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	1 名	元PTA役員	・学校支援ボランティアの派遣(人材確保及び連絡調整) ・広報・啓発活動 ・学校支援ボランティアの募集								
協働活動支援員のべ人数	90 人	公民館、社会福祉協議会、老人クラブ、農家、PTA、地域住民等									
活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティ ア調整	休み時間 対応	日々の校 内清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準 備・補助	学校行 事	進路指導 補助	その他
のべ日数	298 日	220 日	23 日	日	6 日	日	日	4 日	2 日	日	43 日
ボランティア のべ人数	1,139 人	880 人	31 人	人	49 人	人	人	18 人	5 人	人	156 人
連携・協力団体・機関	公民館、社会福祉協議会、日赤奉仕団、老人クラブ、湊浦老人会、佐田岬半島ミュージアム、伊方小・中見守りボランティア、伊方小・丸町小読み聞かせグループ、西宇和農協、みさき果樹園、笑柑園、PTAほか										

## 取組の概要

### <主な取組内容>

- 地域人材を生かした教育活動
  - ・全校児童への読み聞かせ活動
  - ・総合的な学習の時間における平和学習(戦争体験談)
  - ・福祉ボランティア活動(講話と体験学習)
  - ・職場体験「農業体験」
  - ・しめ縄づくり
- 心を豊かにする環境整備
  - ・地域花植え活動
  - ・学校運動場周辺の草引き
- 地域全体で見守り活動
  - ・登下校の見守り活動
  - ・交通安全教室(校外コース見守り)



(読み聞かせ)



(地域花植え活動)



(登下校の見守り)

### 児童の感想(地域花植え活動)

・地域の方と花壇に花の苗を植えました。植え方を教えてもらいながら一緒に楽しく活動できてうれしかったです。草引きをがんばって花をきれいに咲かせたいです。

### <特色ある取組>

- 地域の伝統を守り育てる「しめ縄づくり」  
伊方小学校では毎年12月に「しめ縄づくり」を実施している。この活動は閉校した水ヶ浦小学校で毎年行われていたものであったが、伊方小学校との統合後は伊方小学校で引き続き行われている。老人クラブの方に作り方を教えていただき楽しい交流の場ともなっている。家庭でしめ縄を作る機会が減っているため児童にとっては貴重な体験となっている。  
(児童の感想)  
手伝っていただいたり、親切に教えていただいたりして、いいしめ縄ができました。うまくできたので、家の玄関に飾ってお正月を迎えたいです。



(しめ縄づくり)

## 事業を実施して

### 【成果】

- 学校支援ボランティア活動を通して地域と学校の交流が増えてつながりが深まった。
- 地域の方との関わりや様々な体験学習を行うことで、幅広く生きた学習につながっている。

### 【課題】

- 児童数の減少や地域住民の方の高齢化に対応するため、無理なく長く続けられる支援活動の在り方を検討。
- 協働活動に対する、地域住民の理解促進。

# 畑地小学校地域学校協働本部【宇和島市】

～地域・学校・公民館が思いを一つにして地域を活性化～

## ◆活動の目的・理念

- 地域と学校が教育目標を共有することで、子どもたちのための温かい教育活動を展開する。
- 地域をよく知る地域学校協働活動推進員が地域と学校・公民館をつなぎ、互いに信頼関係で結ばれ、地域学校協働本部が機能することで、学校の教育活動を充実させ、地域そのものも活性化する。

	配置	属性	活動内容									
地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	1名	用務員と兼任	・教育活動の支援計画に基づく学校・地域・公民館の活動計画の調整 ・学校支援ボランティアへの連絡と調整 ・地域の伝統芸能保存のための連絡調整									
協働活動支援員のべ人数	300人	公民館長、公民館主事、高齢者福祉施設長、学校運営協議会委員、地域子ども食堂責任者、伝統芸能指導者、地域住民										
活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランテ ア調整	休み時間 対応	日々の校 内清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準 備・補助	学校行 事	進路指導 補助	その他	
のべ日数	317日	195日	0日	96日	0日	21日	0日	0日	0日	2日	0日	3日
ボランティア のべ人数	1,312人	1,000人	0人	284人	0人	21人	0人	0人	0人	4人	0人	3人
連携・協力団体・機関	畑地公民館、宇和島市社会福祉協議会、高齢者福祉施設「さいさい」、畑地子ども食堂、学校運営協議会委員、地域住民											

## 取組の概要

### <主な取組内容>

- **地域間交流「和船競漕」体験**  
近隣校の推進員同士の研修や交流から学校間での児童の交流学習が実現し、近隣の伝統的な和船競漕の文化に触れることができた。
- **地域行事復活の物語「三番叟」**  
推進員が地域の願いを受け止め、学校への協力を求めることで児童が地域の伝統芸能を復活させた。
- **地域全体を巻き込む「野菜作りから収穫までの学習」**  
公民館とも太いパイプを持つ推進員が地域の協働活動支援員とつながり、児童の野菜作り体験から公民館祭りにおける野菜の販売、収穫祭に至る学習の流れをサポートし、学校の教育活動を充実させ、地域住民も笑顔にする体験学習を実現させた。



(和船競漕の船の見学：  
推進員同士の交流で実現)



(地域の伝統芸能「三番叟」：  
推進員の仲立ちで復活)

### 児童の感想

- ・ぼくは、初めて和船に乗ってうれしかったです。船には大きな幟が立っていてぐらぐら揺れたけど楽しかったです。
- ・地域の伝統芸能を復活させて、地域の人が喜んでくれたのがうれしかったです。地域の人に少しお礼ができたかなと思いました。
- ・自分が育てた野菜が売れて、地域の人がたくさん買ってくれたのがうれしかったです。収穫祭にも来てほしいです。
- ・収穫祭に下灘小の友達が来てくれてうれしかったです。

### <コミュニティ・スクールとの一体的な取組>

- **学校運営協議会を生かした地域ぐるみの学校づくり**  
学校長がリーダーシップを取り、学校運営協議会で学校経営方針を地域に十分理解してもらい、教育活動を熟議することにより、もとより地域とつながりのある地域学校協働活動推進員が活躍でき、地域と学校の厚い信頼関係の上に活動計画が立案・展開されていった。
- **地域学校協働活動の可視化**  
学校での地域学校協働活動の様子を年間を通してカレンダー形式で、校舎内に掲示し、保護者をはじめ、地域住民にも活動の目的や成果を可視化することで、より多くの地域の賛同や協力を得ることにつながった。



(学校の廊下に年間の地域学校協働活動をカレンダー形式で掲示)

## 事業を実施して

### 【成果】

- 推進員がつながり地域学校協働活動により、地域とともにある学校づくりと、学校を核とした地域づくりが進んだ。
- 児童は、自分の地域の良さや地域の人の愛情を感じ、ふるさと畑地を愛する気持ちを育てることができた。
- 地域の児童が活躍したり、伝統芸能が復活する姿を見て、地域の人々が元気になり、ふるさと畑地の活性化につながった。

### 【課題】

- 児童数や家庭数、地域住民の減少とともに今の協力体制の継続・維持に不安を感じる。
- ボランティアの高齢化に伴い、地域学校協働本部の活動維持のための手立てが必要である。

# 泉小学校地域学校協働本部【鬼北町】

～地域とともに、子どもたちを育てよう～

## ◆活動の目的・理念

- 学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整える。
- 地域の教育力の活用により一層努め、地域に根ざした教育活動の推進に努める。

地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	配置		属性		活動内容						
	1	名	町職員 会計年度任用職員		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校行事・地域行事に対応した支援活動の計画</li> <li>● 学校支援ボランティアへの連絡と調整</li> <li>● 広報・啓発活動(学校日より等)</li> </ul>						
協働活動支援員のべ人数	8	人	泉公民館長、公民館主事、子ども教室コーディネーター、老人クラブ会長等								
活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティ ア調整	休み時間 対応	日々の校 内清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準備・ 補助	学校行事	進路指導 補助	その他
のべ日数 257 日	199 日	0 日	12 日	0 日	2 日	16 日	0 日	24 日	4 日	0 日	0 日
ボランティア のべ人数 2,469 人	2,047 人	0 人	121 人	0 人	60 人	88 人	0 人	87 人	66 人	0 人	0 人
連携・協力団体・機関	泉公民館、老人クラブ泉支部、泉自治会、鬼北町農業公社、鬼北農業指導班、鬼北文楽保存会、泉貨紙保存会、県立北宇和高等学校										

## 取組の概要

### <主な取組内容>

- 子どもに寄り添う学習支援
  - ・ 古代米づくり ・ ぶどう栽培 ・ 泉貨紙づくり体験
  - ・ さつまいも栽培 ・ 生活科、社会科見学
  - ・ 県立北宇和高等学校との連携学習 ・ 牛鬼面づくり
- 心を豊かにする環境整備
  - ・ 夏季休業中の奉仕活動
  - ・ ボランティアによる樹木の剪定
- 地域全体で取り組む見守り活動
  - ・ 登下校時の見守り活動
- 部活動支援
  - ・ クラブ活動での外部講師による指導  
(鬼北文楽クラブ・茶道クラブ)



(ぶどう栽培)



(鬼北文楽クラブ)

### <コミュニティ・スクールとの一体的な取組>

- 古代米づくり  
校区内に2つの遺跡がある泉小学校にちなんで、6年生が中心となり毎年古代米の一種である赤米・黒米を籾から育てている。
- 鬼北文楽の学習  
月2回のクラブ活動の際、泉地区に伝わる鬼北文楽を鬼北文楽保存会の方に直接指導いただいている。



(古代米づくり)

## 事業を実施して

### 【成果】

- 新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことにより、これまでの活動内容に戻すことができた。感染拡大前と同様の支援を受けることができ、子どもたちが一年間を通して、大きく成長することができた。
- 公民館や老人クラブ、地域有志等の皆さんが、一年間いろんな場面で学校を支えてくださり、子どもたちを見守ってくださった。
- クラブ活動や学習支援において、地域の方に直接教わることにより、児童が地域の伝統文化に親しみ、自分の住む地域を愛する気持ちを育てることができた。

### 【課題】

- 児童数減少によりクラブ活動での人員の確保が難しくなっている。今後のことを見据え、児童や外部講師の意向を踏まえつつ、早急に持続可能なクラブ活動の方法を模索しなくてはならない。
- 地域の高齢化が進んでおり、人材の確保が難しくなっている。公民館や老人クラブ、地域有志等と協力し、新たな人材の発掘、育成をしていかなければいけない。